



アクティビティ STEP1-C3 将来の夢×SDGsを探せ ～キャリア教育のSDGs～

SDGs達成に向けたアクションは、他人ごとではありません。自分の将来やりたいことはもちろんSDGsに深く関わっていますが、具体的にどのようなかわかりが持てるかを考えます。また、将来だけでなく、今、消費者として将来のキャリアにどのように関わることが出来るかを考え、グローバルシチズンシップとしての基礎を育みます。

目的：自分の将来やりたいこととSDGsの関係を考え、SDGs達成に向けた主体者である意識を高める

所要時間：45分

実施基準：★★

形式：グループワーク/ 個人ワーク

用意する物：付箋 / A4 程度の白紙

ワークの進め方：

1. 自分の好きなこと、やりたいことを考える。そのキャリアは、どのような人に役立ったり、どのような社会の課題を解決する物かを考える。
2. その職業を調べ、その職業内でSDGsに絡めてどのような工夫が出来るかを考える。

例：パン屋：

- +目標8：適切な良い仕事と経済成長（障害者雇用や移民労働者の雇用配慮、天然資源のものを材料に使う）
- +目標12：責任をもって生産し、消費する（廃棄をゼロにできるように生産量を考える、空気や水、土を汚さずに、有害な化学物質は使わない、環境破壊につながらない生産をする。）

システムエンジニア：

- +目標9：災害に強いインフラ（生活するうえで必要な社会的な施設や設備のこと）を設計して、災害にあっても避難経路が携帯電話に表示できるような技術を開発する。

開発の基礎知識をデータ化して、発展途上国の子どもたちが映像で学べる学習教材を作る

- +目標11：障害者の人も暮らしやすいように、サポートの仕方や道案内の情報がすぐに検索できるようにインターネットの情報を整備する

3. 今、消費者としてできることは何かを考える

例：作られている者がSDGsに配慮されているものかを意識する。

意見が出にくい場合「SDGsに配慮されていないものに対して、企業に声を上げる力を持っている」ことを伝える